

愛媛県東予地域内科専門研修プログラム

平成30年3月
グランドオープン



住友別子病院
SUMITOMO BESSHI HOSPITAL

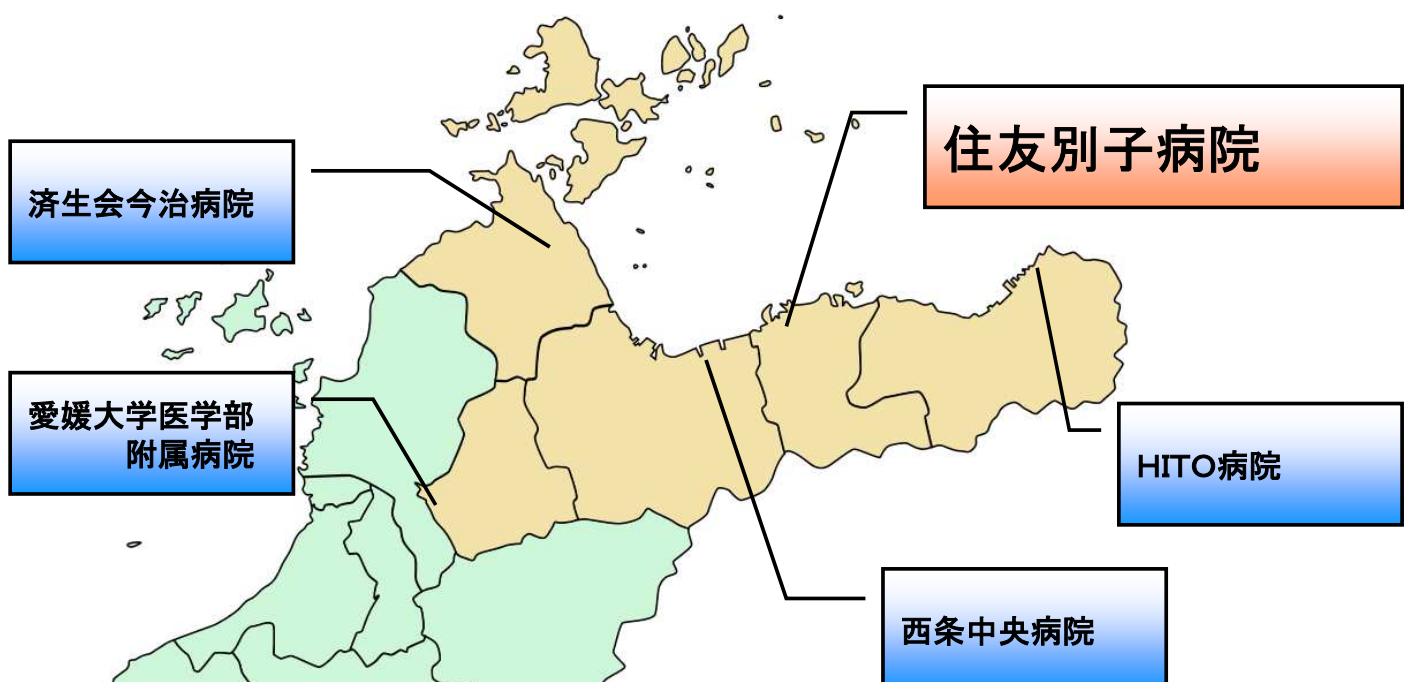
1. 理念

住友別子病院内科専門研修施設群は、技術修得が不可欠な消化器・循環器の分野に特化して内科専門医の資格や内科専門医に必要な知識を身につけながら専攻医1年目から希望分野（消化器、循環器、あるいは両方）にて技術修得の研修を行います。

		住友別子	住友別子、済生会今治、 西条中央、HITO
循環器	心カテ	453	665
	心エコー	2,927	5,577
消化器	内視鏡	5,537	11,194
	I V R	132	595
	腹部エコー	5,700	9,486

2. 専門研修施設群

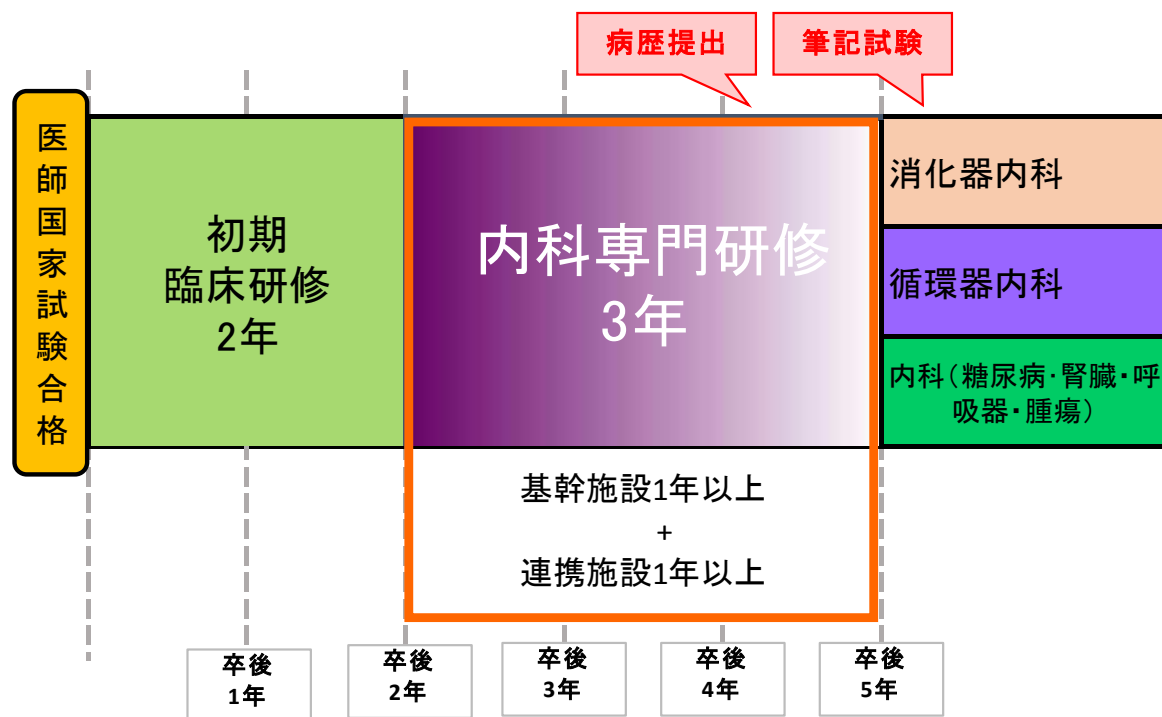
消化器や循環器の分野が強く、地域でも特に症例数の多い病院で構成されているため、4施設と少ないものの1施設あたりの研修期間を長く設定できることから診療能力を集中的に高めることができます。



3. 専門研修の期間

希望確認の上、3年間で基幹施設である住友別子病院を1年以上、連携施設を1年以上となるようカリキュラム編成します。

研修達成度によってはSubspecialty研修も可能です。



研修施設ローテーション例

	4月～9月	10月～翌3月
1年目	住友別子病院	【選択】済生会今治、西条中央、HITO
2年目	【選択】済生会今治、西条中央、HITO	【選択】住友別子、愛媛大学
3年目	【選択】住友別子、済生会今治、西条中央、HITO	

4. カリキュラム

内科専門医の資格や内科専門医に必要な知識を身につけながらも、希望する分野（消化器，循環器，あるいは両方）の研修に重点を置いたカリキュラムを設定します。

カリキュラム例

	月	火	水	木	金
午前	初診	選択領域	救急	選択領域	選択領域
午後	ローテーション先の診療科				

住友別子病院 週間スケジュール例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	内科 朝カンファレンス ＜各診療科（Subspecialty）＞					担当患者の病態に応じた診療/オンコール/当直/講習会・学会参加等	
	総合 外来	心電図 心エコー	内視鏡	腹部エ コー	救急		
午後	消化器 胆・膵 治療	消化器 I V R	循環器 P C I	画像 読影	カンフ アレ ス		
	担当患者の病棟に応じた診療/オンコール/当直等						

5. 年次到達目標

	内容	専攻医3年修了時 カリキュラムに示す疾患群	専攻医3年修了時 修了要件	専攻医2年修了時 経験目標	専攻医1年修了時 経験目標	※5 病歴要約提出数
分野	総合内科Ⅰ（一般）	1	1※2	1		2
	総合内科Ⅱ（高齢者）	1	1※2	1		
	総合内科Ⅲ（腫瘍）	1	1※2	1		
	消化器	9	5以上※1※2	5以上※1		3※1
	循環器	10	5以上※2	5以上		3
	内分泌	4	2以上※2	2以上		3※4
	代謝	5	3以上※2	3以上		
	腎臓	7	4以上※2	4以上		2
	呼吸器	8	4以上※2	4以上		3
	血液	3	2以上※2	2以上		2
	神経	9	5以上※2	5以上		2
	アレルギー	2	1以上※2	1以上		1
	膠原病	2	1以上※2	1以上		1
	感染症	4	2以上※2	2以上		2
	救急	4	4※2	4		2
	外科紹介症例					2
	剖検症例					1
	合計※5	70疾患群	56疾患群 （任意選択含む）	45疾患群 （任意選択含む）	20疾患群	29症例 （外来は最大7）※3
	症例数※5	200以上 （外来は最大20）	160以上 （外来は最大16）	120以上	60以上	

- ※1 消化器分野では「疾患群」の経験と「病歴要約」の提出のそれぞれにおいて、「消化管」「肝臓」「胆・膵」が含まれること。
- ※2 修了要件に示した分野の合計は41疾患群だが、他に異なる15疾患群の経験を加えて合計56疾患群以上の経験とする。
- ※3 外来症例による病歴要約の提出を7例まで認める。
（全て異なる疾患群での提出が必要）
- ※4 「内分泌」「代謝」からはそれぞれ1症例ずつ以上の病歴要約を提出する。
例）「内分泌」2例+「代謝」1例，「内分泌」1例+「代謝」2例
- ※5 初期臨床研修時の症例は，例外的に各専攻医プログラムの委員会が認める内容に限り，その登録が認められる。

6－1. 診療科紹介(消化器内科)

1. 診療案内

1) 消化器内視鏡検査

本邦では、消化管にがんが発生しやすいことが広く知られており、早期に発見された消化管がん（食道がん・胃がん・大腸がん）は内視鏡で治療することが可能です。消化器内科では、消化管がんに対する早期発見・早期治療に対する取組を積極的に行っています。



内視鏡検査をできるだけ楽に受けていただくように、胃カメラでは経鼻内視鏡や鎮静剤を用いた内視鏡を導入しており、大腸カメラではCO2送気による内視鏡を導入しています。また、早期発見された消化管がんに対しては、拡大内視鏡やNBI観察、特殊染色観察を行い、内視鏡治療の適応を判断しています。内視鏡治療適応と判断した病変に関しては、内視鏡的粘膜下層剥離（ESD）を施行しており、安定した治療成績が得られています。

2) 消化器がんの化学療法

比較的進行した消化器がんに対して、化学療法が適応となることがあります。化学療法は単独で施行する以外にも、手術療法の前後で施行する場合や、放射線療法と併用する場合があります。

最近では、基礎的な研究成果として、分子標的治療等の新しい化学療法が開発され、治療成績が向上しています。化学療法は治療と同時に有害事象に対する患者ケアが非常に重要です。当院では、薬物療法専門医、がん化学療法看護認定看護師、がん専門薬剤師等、専門的なスタッフが中心となり、安心できる化学療法を提供しています。

3) 炎症性腸疾患

炎症性腸疾患は、主に消化管に炎症をおこす慢性疾患の総称で潰瘍性大腸炎やクローン病に代表されます。潰瘍性大腸炎、クローン病とも原因不明ですが、食生活の欧米化とともに増加傾向にあります。両疾患ともに厚生労働省の指定難病にあたり、専門的で長期的な加療が必要となります。当院では消化管造影検査、内視鏡検査（ダブルバルーン内視鏡検査）、CT検査等にて病勢を評価し、内服療法（抗炎症療法、免疫抑制剤等）に加え、血球除去療法、生物学的製剤等で病状をコントロールします。

4) 胆膵疾患

当科では、膵胆道系疾患を良性から悪性まで幅広く取り扱っています。腹部CT検査やMRI検査に加え、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）や超音波内視鏡検査（EUS）などの内視鏡検査を行い、悪性疾患の早期発見や診断に努めています。総胆管結石に対しては、緊急ドレナージ術や碎石術などの内視鏡治療を行っております。また、膵臓がんや胆管がんなどの悪性疾患はERCPやEUSに加え、超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）を施行し、治療方針を決定しています。悪性胆道狭窄に対しては、チューブステントやメタリックステント留置術を行っております。



5) 肝疾患

当院は肝臓専門医を中心に肝疾患の診療にあたっています。肝疾患では、肝がんのハイリスクグループであるB型慢性肝炎やC型慢性肝炎が重要です。C型慢性肝炎に対する抗ウイルス治療は、ここ数年で大きく様変わりをしました。従来のインターフェロン療法に変わり、経口剤のみのインターフェロンフリー療法が主流となっており、高い治療効果と少ない副作用が特徴です（医療助成制度の対象ですので、治療費用に関しては窓口で相談ください）。また、近年には、メタボリックシンドロームや糖尿病などが原因となる非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）が注目されています。NASHの一部が非B型非C型肝炎に関与しており、注意が必要です。肝がんに対しては、腹部超音波検査、CT検査、MRI検査などで施行の上、消化器内科・外科・放射線科で協議のうえ、治療方針を決定しています。手術療法、ラジオ波焼灼術、肝動脈化学塞栓療法等の肝がん治療を多数手がけております。



2. 認定施設

日本内科学会認定医制度教育病院
日本消化器内視鏡学会認定指導施設
日本消化器病学会認定施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設

3. 診療実績

検査・治療	平成28年	平成29年
上部内視鏡検査 (EGD)	4004例	4418例
大腸内視鏡検査 (CS)	1318例	1263例
大腸粘膜切除 (EMR)	264例	277例
内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	42例	41例
食道・胃ESD	24例	28例
大腸ESD	18例	13例
内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査 (ERCP)	178例	171例
超音波内視鏡 (EUS)	32例	44例
肝生検	17例	24例
ラジオ波焼灼術 (RFA)	27例	44例
肝動脈化学塞栓療法 (TACE)	68例	68例
炎症性腸疾患		
潰瘍性大腸炎	126人	130人
クローン病	31人	34人
化学療法		
食道・胃・大腸	43人	61人
肝・胆・膵	28人	35人

6-2. 診療科紹介(循環器内科)

1. 診療内容

心臓病、血管病にいつでも対応いたします。私たち住友別子病院循環器内科は新居浜市のみでなく、東予地域全体におられる心臓病、血管病をお持ちの皆様のお力になりたいという強い想いを持っております。

その想いから平成29年1月に循環器病センターを発足いたしました。循環器内科が扱う疾患は、心筋梗塞、狭心症などの虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈などの心臓病のみでなく、閉塞性動脈硬化症などの血管病もあります。心臓病や血管病は生命に直結するため、緊急処置が必要となる場合が多いのが特徴です。このため、24時間365日いつでも当院の循環器内科医師が対応できるような体制を整えております。



1) 検査

超音波専門医の監督のもと、精度の高い心エコー図検査を行っております（心臓の動きや構造の異常を調べる重要な検査です）。ABIや血管エコーによる末梢動脈疾患の診断にも力を入れております。また、320列CTによる冠動脈の詳細な評価（狭心症の診断）が可能であり、SPECTによる心筋虚血精査（心臓の血流評価）をすることもできます。不整脈に対しては24時間ホルター心電図のみでなく、2週間装着可能なイベントレコーダーを有しております。外来にて質の高い診断を行うことができます。

2) 治療

心臓病、血管病をお持ちの方は、症状を改善させるためだけではなく、病気の進行を抑えるためにもお薬による治療が重要となります。最適な薬物療法を提案いたします。

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）や末梢動脈疾患に対する心血管カテーテル治療に力を入れており、治療件数は年々増加傾向にあります。

＞経皮的冠動脈インターベンション（PCI）

心臓の筋肉に酸素や栄養分を送っている血管（冠動脈と呼ばれます）に動脈硬化や血栓が生じ、狭窄や閉塞が起こると、狭心症や心筋梗塞をきたします。生命にかかわる危険性があり、胸の痛みや苦しさが自覚症状として現れます。手首や足のつけねの血管からカテーテル（管）を挿入し、心臓まで到達させ、狭窄、閉塞した血管を風船で拡張し、ステントという金属の網を留置して補強することにより血流を回復させる手術がPCIです。治療を受ける人の体への負担が少なく、繰り返し行うことができる点が強みです。再狭窄（再び狭くなってしまう）を起こすことがあることが問題とされていますが、薬剤溶出性ステントの登場により再狭窄率は10%未満となってきました。

＞末梢血管インターベンション（EVT）

下肢閉塞性動脈硬化症に対して行います。足を流れる血管に動脈硬化による狭窄が生じた場合、血流障害により歩行時の痛みが生じひどい場合は安静時の痛みや足の傷が生じ、切断に至ることもあります。カテーテルを用いて狭窄血管を風船で拡張したり、ステントを留置したりすることにより血流の改善を得ることができます。



脈がお休みしたり、遅くなったりして失神や心不全の原因となる徐脈性不整脈に対するペースメーカー治療を行っております。植え込み型除細動器の手術は行っておりませんが、手術可能な施設に紹介し、術後は当院外来で管理することができます。

充実した画像診断装置やカテーテル検査を駆使して、心不全の診断治療に力を入れております。

当院で治療困難な心臓病に関しては岡山大学病院などの医療機関と連携して最善の治療を提供いたします。

2. 診療実績

		件数
経皮的冠動脈インターベンション（PCI）		195
末梢血管インターベンション（EVT）		20
心臓ペースメーカー（新規、電池交換）		13
心臓超音波	経胸壁	2,927
	経食道	10
冠動脈CT（320列）		271

7. 住友別子病院の概要

1. 所在地

愛媛県新居浜市王子町

新居浜市：愛媛県東部の市人口約12万人（四国6番目の市）



周辺環境



2. 沿革

明治 16 年 別子山村に開設
平成 15 年 臨床研修指定病院（平成 16 年 5 月～）
平成 17 年 地域がん診療連携拠点病院指定
平成 28 年 新病院オープン
平成 29 年 新専門医制度 内科領域基幹施設登録

3. 標榜科（全 30 科目）

内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、循環器内科、糖尿病内科、内科（人工透析）、腫瘍内科、精神科、神経内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、腫瘍外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、泌尿器科（人工透析）、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、腫瘍放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、病理診断科

4. 病床数

360 床

（一般病棟 314 床、ICU 6 床、回復期リハビリ病棟 40 床）

5. 医局

- 1) 中規模ではあるが小回りが効いて連携のよい医局
各科の垣根が低くさまざまな科の指導医が指導
- 2) 常勤医師 50 名（愛媛大学、香川大学、岡山大学等）
消化器内科 5 名、腎臓内科 1 名、循環器科 4 名、糖尿病内科 1 名、内科 2 名、外科 2 名、上部消化管外科 1 名、下部消化管外科 1 名、乳腺・内分泌外科 1 名、整形外科 4 名、形成外科 2 名、脳神経外科 2 名、皮膚科 1 名、泌尿器科 4 名、産婦人科 2 名、眼科 4 名、耳鼻咽喉科 1 名、放射線診断科 3 名、放射線 I V R 科 2 名、麻酔科 1 名、歯科口腔外科 1 名、病理診断科 1 名、ドック 1 名、研修医 3 名（H30.4 現在）

6. その他の施設

- 1) 院内保育所 王子キッズ
平成 29 年 10 月開設 定員 30 名
- 2) 介護老人保健施設 王子苑
平成 29 年 9 月開設 27 床



7. 図書施設

- | | |
|---------|-------------------------|
| 1) 医学図書 | 国内図書：1,832冊 / 国外図書：108冊 |
| 2) 医学雑誌 | 国内雑誌：72種類 / 国外雑誌：36種類 |
| 3) その他 | UpToDate、今日の治療指針、医学中央雑誌 |



8. 設備・施設・症例数

1) 放射線部

市中病院ではトップクラスの放射線機器を設置



MRI(3テスラ)
実績：約5,000件/年



CT(320列)
実績：約12,000件/年



DSA
H29実績：約700件/年



LINAC
実績：約2,700件/年



核医学(PET-CT)
実績: 約300件/年



核医学(SPECT)
実績: 約600件/年



デジタルマンモグラフィ
実績: 約1,600件/年



X線テレビ装置
実績: 1,500件/年



MRI(1.5テスラ)



結石破碎装置

2) 内科

消化管・肝臓・循環器・糖尿・腎臓等それぞれの専門分野のスタッフが配属されている。

また、内科ベッド数100床で症例数も豊富。



内視鏡室

県下でも有数の検査数があり、消化器がんを中心にレベルの高い内視鏡診断・治療を行っています。

上部消化管内視鏡: 約4,400件/年

上部ESD: 約30件/年

下部消化管内視鏡: 約1,300件/年

下部ESD: 約10件/年

ERCP: 230件/年



腹部超音波室

内科初期研修中の研修では臨床検査技師によるサポートもあります。

腹部エコー: 6,000件/年

下肢・腎動脈・頸動脈・甲状腺頸部エコー: 約1,400件/年



トレッドミル

心エコー: 約3,200件/年

トレッドミル・負荷心電図: 約800件/年

心臓カテーテル検査: 約190件/年

心臓カテーテル治療: 約170/年

心臓ペースメーカー治療: 約10件/年



心エコー



人工腎臓透析室

腎臓・透析専門医により、約90人の透析患者数をかかえています。

腎生検 約20例/年

新規透析導入患者 約40例/年

維持血液透析患者 約90例/年



外来



救急診療室

全科当直のため、様々な患者が受診します（1日平均7人）。年間の救急搬送件数は1,500件で、各科のサポート体制も整っています。



病棟・ナースステーション



病室

9. 研究室（平成29年リニューアル）



8. 勤務条件・賃金

1) 勤務

年間就業日数 245 日、年間休日数 120 日（原則、土日休み）
有給休暇（1 年次 11 日、2 年次 16 日）、夏季休暇あり

2) 賃金（平成 29 年度実績より）

年収約 1,200 万円（諸手当含む）～

3) 官舎あり（無料）

イオンモール等が徒歩 5 分の距離にあり住みやすく便利

4) 学会

学会費、学会参加費（交通費含む）3 回／年 支給あり

9. 応募手続

1) 募集定員

3 名

2) 提出書類

履歴書、医師免許証（写）

3) 選考方法

面接

4) 選考日

日本専門医機構より示される選考スケジュールに沿って実施

お問合せ先

【プログラム責任者】

院長 鈴木 誠祐

Mail: seiyuu_suzuki@ni.sbh.gr.jp

【事務窓口】

臨床研修センター 三崎

Mail: hiroshi_misaki@ni.sbh.gr.jp

病院見学は随時受付中ですお気軽にお問合せください（旅費・宿泊費は病院負担）



交通のご案内

JR新居浜駅より、バス約15分、タクシー約10分
 いよ西条インターチェンジより、車で約20分
 新居浜インターチェンジより、車で約20分



住友別子病院

愛媛県新居浜市王子町3番1号

TEL(0897)37-7111 FAX(0897)37-7121

URL <http://www.sbh.gr.jp/>